2026 年 11 月

報道関係各位

特別展「皇室と刀剣」
令和 9 年(2027)7 月、皇居三の丸尚蔵館で開催
皇居内で初の刀剣展示！

このたび、皇居三の丸尚蔵館、毎日新聞社は、特別展「皇室と刀剣」を 2027 年 7 月 22 日(木)から 10 月 11 日(月・祝)にかけて開催する運びとなりました。

日本において、刀剣は実用の武器である一方、古来、祭祀や儀式に用いられてきました。そのため現在も日本各地で神社への刀剣奉納や神事での使用などに見られるように、刀剣を神聖なものとみる文化があります。

皇室においては、天皇から次の天皇へ、皇位継承の証として八咫鏡(やたのかがみ)、草薙剣(くさなぎのつるぎ)、八尺瓊勾玉(やさかにのまがたま)が引き継がれます。令和元年(2019)には、即位後に「剣璽等承継の儀(けんじとうしょうけいのぎ)」が皇居宮殿にて執り行われたのは記憶に新しいところです。

そして、皇室には儀式に用いる刀剣とは別に、数々の名刀が伝わりました。江戸時代以前から継承されてきた御在来と呼ばれる品もありますが、多くは愛刀家であった明治天皇のもとに、旧大名家などから献上あるいは買上げによって集められた名刀です。

本展では、古事記や日本書紀に記された内容をもとに、刀剣が武器や祭器としての性格を兼ね備え、やがては皇位継承の証である神器となる過程をたどり、刀剣が描かれた絵画作品を通して、儀式の場における皇室と刀剣文化の関係についてご覧いただきます。また、皇室ゆかりの刀剣をはじめ、各宮家よりご寄贈いただいた刀剣など名刀の数々を一堂に、皇居内で初めて展示いたします。

【開催概要】
- ■ 名称 ： 特別展「皇室と刀剣」
- ■ 会期 ： 2027 年 7 月 22 日(木)～10 月 11 日(月・祝)
- ■ 会場 ： 皇居三の丸尚蔵館
- ■ 主催 ： 皇居三の丸尚蔵館、毎日新聞社

※開館時間、休館日、観覧料等の情報は、今後展覧会公式サイト等でお知らせします。
※展示作品、会期等については、今後諸事情により変更する場合があります。



刀(かたな) 無銘(むめい) 伝正宗(でんまさむね)(名物(めいぶつ) 若狭正宗(わかさまさむね)) 鎌倉時代(14 世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

徳川家康が所持し、池田輝政が家康より拝領。池田家に伝来した後に再び将軍家のもとで伝来し、明治20年(1887)に公爵 徳川家達より明治天皇に献上されました。刃文は相州正宗の特徴とされる、ゆったりとした波のような曲線を描いており、その中に沸と呼ばれる細かい粒子が入る大変美しいものです。

【本展の章構成概要】

第1章　武器から祭器、そして神器へ

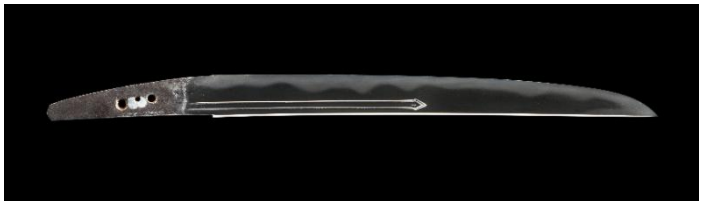
弥生時代の墳墓や遺跡から出土した銅剣・銅鏡・玉類をはじめとして、古墳から出土した刀剣類および古代の伝世刀剣を通して、本来武器である刀剣が祭器的かつ身分表象を兼ねた器物となる過程をたどります。また、古事記や日本書紀に記載されている鏡や剣の記述や刀剣が描かれた皇室と関連する絵画作品などを通じ、皇位継承に必要な神器の一つとなる刀剣について考えます。

第2章　宮中儀礼と刀剣

即位礼や大嘗祭など、皇室の宮中儀礼における刀剣をご紹介します。明治度大嘗祭の祭物や諸々の儀式について描いた画帖である《明治大嘗祭図》や宮中の年間行事や儀式をまとめた《恒例公事之図》・《臨時公事之図》などの絵画作品を通して、宮中儀礼と刀剣の関わりについてご覧いただきます。

第3章　皇室伝来の名刀

皇室には数々の名刀が伝来しました。皇居三の丸尚蔵館には平成元年に上皇陛下・香淳皇后より国に寄贈された刀剣をはじめ、その後、秩父宮家・高松宮家・三笠宮家よりご寄贈いただいた刀剣類が収蔵されています。本展では、徳川将軍家に伝わり明治天皇に献上された鎌倉時代の刀工・相州正宗による名刀《名物　若狭正宗》をはじめ、昭和天皇が弟である秩父宮雍仁親王に贈られた《長幸》など、皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室ゆかりの刀剣を一挙公開いたします。なお、皇居内で刀剣が展示されるのは今回が初となります。



短刀　無銘　伝正宗（名物　宗瑞正宗）　鎌倉時代（14 世紀）
皇居三の丸尚蔵館収蔵



香川勝廣ほか《花唐草透彫水晶入短刀拵》　明治 37 年（1904）
皇居三の丸尚蔵館収蔵

豊臣秀吉、毛利輝元などの手を経て尾張徳川家にわたり、その後は徳川将軍家に伝来。明治20年（1887）に公爵 徳川家達より明治天皇へ献上された短刀です。

この短刀には純金の鞘に花唐草紋様の透かし彫りをあしらった秀麗な拵が伴います。把には香木を使用するなど、総じて正倉院宝物の荘大刀や刀子の意匠を参考にしたことがうかがえます。製作の中心的役割を果たした香川勝廣は、明治39年（1906）に帝室技芸員に任命されました。

本紙に掲載されている皇居三の丸尚蔵館収蔵品は全て国有品です。

【本件に関するお問合せ】
皇居三の丸尚蔵館　広報事務局（共同 PR 内）担当：三井
E-mail. shozokan-pr@kyodo-pr.co.jp　TEL. 03-6264-2382